

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11002-J1
授業科目名	医学のための統計学		
担当教員氏名	福井 充		
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	2.6

【シラバス情報】

授業概要	実験あるいは調査によって得られたデータの統計的考察は、医学を学んでいく上での素養となる。本講義では統計的考察を行なう上で必要な基礎的な概念と、推定・検定の概念を習得するとともに、実際の問題に適応する統計的手法の習得を目標とする
到達目標	次の各項目を身につけることを目標とする 1. 標本調査の概念を理解する 2. 1変量・2変量の記述統計を理解し、作表・作図・計算ができる 3. 確率分布の概念を理解し、正規分布・二項分布・ポアソン分布の確率計算ができる 4. 仮説検定、信頼区間の概念を理解する 5. 1変量および2変量データについての基本的な検定・推定手法について理解し、データに応じて正しく使用できる

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/12・2限	福井 充	統計学とは。標本調査の考え方	各回に紹介する統計量の定義式・例題を事前に配布するので、各自例題で確認しておくこと。 講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第2回	4/19・2限	福井 充	記述統計(単変量): 度数分布表・ヒストグラム、平均・分散・標準偏差	
第3回	4/26・2限	福井 充	記述統計(単変量): 箱ひげ図、中央値・パーセント点	
第4回	5/10・2限	福井 充	記述統計(2変量): 散布図、相関係数	
第5回	5/17・1限	福井 充	記述統計(2変量): 回帰直線	
第6回	5/17・2限	福井 充	確率分布: 確率・確率変数・確率分布の概念	各回に紹介する確率分布の定義式・例題を事前に配布するので、各自例題で確認しておくこと。 講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第7回	5/24・1限	福井 充	確率分布: 代表的な確率分布(二項分布・ポアソン分布)	
第8回	5/24・2限	福井 充	確率分布: 連続分布、確率密度	
第9回	5/31・1限	福井 充	確率分布: 代表的な確率分布(正規分布)	
第10回	5/31・2限	福井 充	検定の考え方: 仮説検定、P値、有意水準	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第11回	6/7・1限	福井 充		
第12回	6/7・2限	福井 充	検定の考え方: 検出力、症例数設計	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第13回	6/14・1限	福井 充		
第14回	6/14・2限	福井 充	推定の考え方: 点推定、区間推定	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第15回	6/21・1限	福井 充	各種統計的手法の紹介: F検定、t検定、カイ2乗検定、Wilcoxon検定などについて	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第16回	6/21・2限	福井 充		
第17回	6/28・2限	福井 充	各種統計的手法の演習: F検定、t検定、カイ2乗検定、Wilcoxon検定などについて	グループごとに事前に指示された演習問題を解答し、発表資料を準備すること 演習後、自グループ発表問題以外について復習すること
第18回	7/5・2限	福井 充		

第 19 回	7/12・2 限	福井 充	シミュレーションによる実験 /	事前配布資料により実験内容について確認しておくこと
第 20 回	7/19・2 限	福井 充	解析実習	

成績評価方法	(1) 試験・レポート・演習により到達目標の達成度について評価を行う (2) 試験 (70%程度)・レポート (20%程度)・演習 (10%程度) で評価する。演習・実習への参加度合いも加味する (3) 合格には最低限の理解と、総合で 60% 以上の得点を必要とする
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義資料、演習問題等の配付や課題等の提出などに Web システムを使用する</li> <li>・ 解析学 (微積分)・線形代数学および集合論の概念・記号等に関する知識は既知のものとするので、必要に応じて各自で補うこと</li> <li>・ 関数電卓を用意すること。試験は関数電卓の使用を前提とする</li> <li>・ 講義中に Web を通じての提出等を求めることがあるので、学内 LAN に接続可能なスマートフォン・タブレット・PC 等を用意すること (用意できない者には別途対応する)</li> </ul> ※いずれも詳細は授業時に指示する
教科書	必携：丹後俊郎著「医学への統計学 第 3 版」(朝倉書店) 補足資料、演習問題を事前もしくは講義中に配布する
参考文献	特になし
オフィスアワー	原則として平日の 10:00 ~ 17:00
教員への連絡方法	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>B 社会と医学・医療                 <ul style="list-style-type: none"> <li>B-1 集団に対する医療                     <ul style="list-style-type: none"> <li>B-1-1) 統計の基礎</li> <li>B-1-2) 統計手法の適用</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>8. 科学的探究 (智) level 1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1</li> </ul> </li> </ul>

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11001-J1
授業科目名	医療倫理学		
担当教員氏名	服部 俊子（都営経営研究科）		
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.9

【シラバス情報】

授業概要	近代医学・技術の進歩は、SF とリアリティの境界が不明瞭な世界を生み出し、われわれ人間のあり方・生き方の問い直しを迫る。人はいつ人になるのか、人の尊厳とは何か、人の生命の質とは何か…近代医学・技術の問題が浮上する医療の臨床で医師はどうすべきかが問われる。本科目は、その問いに応答していく力を身につけるため、医療倫理学の基礎知識を学び、具体的事例に即して倫理的問題を分析する。
到達目標	近代医療の臨床では、医師は医学的診断と同時に「医師はどうすべきか」という医師の倫理的判断が求められる。本科目は、臨床の倫理的問題を適切に特定し、問題に対する判断とその理由を、他者にも十分理解できるよう明晰に説明することを目標とする。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/26・4限	服部 俊子	・道徳と倫理 ・医療倫理学の基礎① 生命倫理と医療倫理 近代医学のまなざし	事後：授業中に示されたレポート課題に取り組む。
第2回	4/26・5限	服部 俊子	・医療倫理学の基礎② 医プロフェッショナリズム 医療現場の対策：臨床倫理と研究倫理	事前：テキスト第1・10・16章を読む。 事後：授業中に示された事例検討課題に取り組む。
第3回	5/24・4限	服部 俊子	脳死と臓器移植	
第4回	5/24・5限	服部 俊子	尊厳死と安楽死	事前：テキスト第8章・第9章を読む。 事後：授業中に示された事例検討課題に取り組む。
第5回	5/31・5限	服部 俊子	輸血拒否と自己決定	
第6回	6/7・5限	服部 俊子	出生前診断・人工妊娠中絶	事前：テキスト第4章を読む。 事後：授業中に示された事例検討課題に取り組む。
第7回	6/28・5限	服部 俊子	デザイナーベビー	

成績評価方法	(1) 到達目標の達成度は、評価基準（レポート課題提示の際に示す）に応じて判定する。 (2) 評価方法は、第1・3・5・7授業回に提示するレポート評価100%とする。 (3) 合格には60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	映像や実際のケースから倫理的に考えるワーク（個人・グループ）を行うために、事前課題としてテキストの該当章を読んでおいてください。授業で、オンライン投票等を使う予定です。
教科書	霜田求編『生命倫理テキストブック』法律文化社、2022年
参考文献	アンソニー・ウェストン『ここからはじまる倫理』野矢茂樹ほか訳、春秋社、2004年 梶田昭『医学の歴史』講談社、2015年 リュック・ペリノ『0番目の患者 逆説の医学史』広野和美・金丸啓子訳、柏書房、2020年 World Medical Association Ethics Manual, WMA, 2007(日本医師会訳)
オフィスアワー	メールでアポイントメントをとること
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応</li> <li>A-1 プロフェッショナリズム <ul style="list-style-type: none"> <li>A-1-1) 医の倫理と生命倫理</li> <li>A-1-2) 患者中心の視点</li> <li>A-1-3) 医師としての責務と裁量権</li> </ul> </li> <li>B-3 医学研究と倫理 <ul style="list-style-type: none"> <li>B-3-1) 倫理規範と実践倫理</li> </ul> </li> <li>● 該当するコンピテンス</li> <li>1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level1</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level1</li> <li>5. チーム医療の実践 (仁) level1</li> <li>6. 医療の質と安全の管理 (仁) level1</li> </ul>
------------	---

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMXCLM11001-J1
授業科目名	医学序論		
担当教員氏名	首藤 太一（教務委員長）他		
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限
			木曜 4限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1

【シラバス情報】

授業概要	1年生が受講する科目の大部分は総合教育科目（一般教養）、基礎教育科目（物理、化学、推計学等）と外国語科目からなる全学共通教育である。これらは良き医療人となるための基盤形成に重要なものであるが、受動的な学習に慣れた学生にとって、その意義を見失いがちである。将来、「智・仁・勇」を兼ね備えた医師となるために必要な点について、医学部臨床系教授陣を中心にオムニバスで医学・医療に関連するさまざまな話題を提供する。
到達目標	医学・医療を学ぶ上で、ともすれば無意味に感じられることの中に、如何に重要な考え方が含まれているかに気づかせ、能動的な姿勢を萌芽させたい。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/21・4限	首藤太一	自分が診てもらいたい医師を目指せ！	全講義を聴講後に、「自身の目指す医師像、理学療法士像、作業療法士像」に関するレポートをMoodle上で提出する
第2回	4/28・4限	掛屋弘	医師になるために知っておきたい感染症の基礎知識	
第3回	5/12・4限	石川隆紀	コロナ禍において法医学者が思うこと	
第4回	5/19・4限	柴田利彦	外科って？ 外科医って？	
第5回	5/26・4限	濱崎孝史	こどもを診るということ	
第6回	6/2・4限	角南貴司子	医工で障がいを乗り越える！	
第7回	6/9・4限	樋口由美子	リハビリテーションの可能性	
第8回	6/16・4限	日野雅之	医者への第一歩 ～患者さんと話してみよう～	

成績評価方法	各講義はオムニバス形式であるので、成績評価は講義の出席とレポートにより行われる。
履修上の注意	第8回は患者さんに来ていただいて、講義を進める。身だしなみには十分留意すること。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応</li> <li>A 医師として求められる基本的な資質・能力</li> <li>A-4 コミュニケーション能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>A-4-1) コミュニケーション</li> <li>A-4-2) 患者と医師の関係</li> </ul> </li> <li>B 社会と医学・医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>B-2 法医学と関連法規 <ul style="list-style-type: none"> <li>B-2-1) 死と法</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</li> <li>1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level1</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level1</li> <li>4. コミュニケーション能力 (智・仁・勇) level1</li> <li>5. チーム医療の実践 (仁) level1</li> <li>6. 医療の質と安全の管理 (仁) level1</li> <li>8. 科学的探究 (智) level1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level1</li> </ul>
------------	--

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11003-J1
授業科目名	遺伝と遺伝子		
担当教員氏名	徳永 文稔（分子病態学）他		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	2

【シラバス情報】

授業概要	1953年にワトソンとクリックによってDNAの二重らせん構造が解明され、遺伝情報の仕組みが解明された以降、「遺伝と遺伝子」に関する分子レベルの研究は最も目覚ましく進展を遂げている学術領域である。近年、多くの疾患に遺伝子レベルの異常が明らかにされ、臨床医学においても重要性は増している。本コースでは、生命の設計図である遺伝子の構造を理解し、生体におけるその役割を分子レベルから、細胞、個体、さらに、進化のレベルまで理解できるよう指導する。講義では、テキストとして「Essential 細胞生物学（原書第5版）」を用いて内容を分かりやすく解説し、遺伝子に関する基本的な概念を正しく十分理解させ、医学・生物学の分野における理解を深めることにも貢献できるように行う。
到達目標	<p>主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 核酸の構造と機能について説明できる</li> <li>・ 遺伝子と染色体の構造について説明できる</li> <li>・ 遺伝子の複製、修復について説明できる</li> <li>・ プロモーター、転写因子等による遺伝子発現調節について説明できる</li> <li>・ DNA から RNA を経てタンパク質合成に至る遺伝情報の変換過程について説明できる</li> <li>・ 遺伝子の解析技法について説明できる</li> </ul>

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/12・3限	徳永 文稔	タンパク質	Essential 細胞生物学 4章の学習内容の定着
第2回	4/19・3限	徳永 文稔	メンデルの法則	Essential 細胞生物学 19章の学習内容の定着
第3回	4/26・3限	徳永 文稔	核酸の化学	Essential 細胞生物学 5章の学習内容の定着
第4回	5/10・3限	徳永 文稔	染色体の構造と機能	Essential 細胞生物学 5章の学習内容の定着
第5回	5/17・3限	徳永 文稔	DNA 複製	Essential 細胞生物学 6章の学習内容の定着
第6回	5/24・3限	徳永 文稔	DNA 修復	Essential 細胞生物学 6章の学習内容の定着
第7回	5/31・3限	及川 大輔	DNA から RNA へ	Essential 細胞生物学 7章の学習内容の定着
第8回	6/7・3限	及川 大輔	RNA からタンパク質へ	Essential 細胞生物学 7章の学習内容の定着
第9回	6/14・3限	及川 大輔	原核細胞の遺伝子転写	Essential 細胞生物学 8章の学習内容の定着
第10回	6/21・3限	清水 康平	真核細胞の遺伝子転写 1	Essential 細胞生物学 8章の学習内容の定着
第11回	6/28・3限	清水 康平	真核細胞の遺伝子転写 2	Essential 細胞生物学 8章の学習内容の定着
第12回	7/5・3限	及川 大輔	遺伝子とゲノム進化	Essential 細胞生物学 9章の学習内容の定着
第13回	7/12・3限	塩田 正之	遺伝子クローニング技術	Essential 細胞生物学 10章の学習内容の定着
第14回	7/19・3限	塩田 正之	DNA・RNAの解析	Essential 細胞生物学 10章の学習内容の定着
第15回	7/19・4限	徳永 文稔	モデル生物	Essential 細胞生物学 1章の学習内容の定着
第16回	7/26・3限		遺伝と遺伝子コース試験	

成績評価方法	到達目標の達成度をコース終了時の筆記試験 (90%) と講義時の態度・小テスト (10%) を総合して評価し、60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	医学部医学科履修規程に従い、所定の出席がなければ試験を受けることができない。
教科書	必携：Essential 細胞生物学 原書第5版 (南江堂)
参考文献	The Cell 細胞の分子生物学 第6版 (ニュートンプレス) ワトソン 遺伝子の分子生物学 第7版 (東京電機大学出版局)
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)。
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-1-1)-(2), C-2-5), C-4-1)</li> <li>●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</li> <li>1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level 1</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1</li> <li>8. 科学的探究 (智) level 1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1</li> </ul>



【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11004-J1
授業科目名	細胞生物学		
担当教員氏名	徳永 文稔（分子病態学）他		
開講年度・学期	2022 前期	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	2

【シラバス情報】

授業概要	ヒトの体は約 60 兆個の細胞から構成され、これらが集積することで組織・器官を形成する。一つの細胞には多様な細胞小器官が存在し、それぞれ重要な役割を果たす。細胞は外界からの刺激に応答して遺伝子発現を変化させ、形態や運動性を変化させる。また、細胞分裂によって増殖するが、最終的に細胞死に至る経路も明らかになってきた。本講義では、細胞を動的な生体単位として捉え、基礎から疾患との関連性を理解できるように指導する。講義では、テキストとして「Essential 細胞生物学（原書第 5 版）」を用いて内容を分かりやすく解説し、細胞生物学に関する基本的な概念を正しく十分理解させる。
到達目標	<p>主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細胞の構造と細胞小器官の機能を説明できる</li> <li>細胞外からの情報伝達機構を説明できる</li> <li>細胞膜の機能分子の多様性とその機能を説明できる</li> <li>イオンチャネル、神経・筋で発生する活動電位の発生・伝播機序について説明できる</li> <li>細胞内タンパク質分解とその制御について説明できる</li> <li>細胞骨格、モータータンパク質、細胞内物質輸送について説明できる</li> <li>細胞周期の制御機構と有性生殖、細胞死経路について説明できる</li> <li>細胞接着因子、細胞外マトリックスの構造と機能を説明できる</li> <li>細胞の多分化能獲得について説明できる</li> </ul>

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第 1 回	9/29・3 限	徳永 文稔	細胞構造	Essential 細胞生物学 1 章の学習内容の定着
第 2 回	10/6・3 限	水関 健司	細胞膜、輸送体、膜電位	Essential 細胞生物学 12 章の学習内容の定着
第 3 回	10/13・3 限	水関 健司	イオンチャネルシグナル	Essential 細胞生物学 12 章の学習内容の定着
第 4 回	10/20・3 限	水関 健司	神経系の情報伝達	Essential 細胞生物学 12 章の学習内容の定着
第 5 回	10/27・3 限	及川 大輔	細胞内区画と選別輸送、分解	Essential 細胞生物学 15 章の学習内容の定着
第 6 回	11/15・4 限	及川 大輔	小胞輸送	Essential 細胞生物学 15 章の学習内容の定着
第 7 回	11/17・3 限	徳永 文稔	細胞のシグナル伝達 1	Essential 細胞生物学 16 章の学習内容の定着
第 8 回	11/22・4 限	徳永 文稔	細胞のシグナル伝達 2	Essential 細胞生物学 16 章の学習内容の定着
第 9 回	11/22・5 限	塩田 正之	細胞骨格と運動	Essential 細胞生物学 17 章の学習内容の定着
第 10 回	11/24・3 限	清水 康平	細胞周期	Essential 細胞生物学 18 章の学習内容の定着
第 11 回	12/8・3 限	高杉 征樹	細胞死	Essential 細胞生物学 18 章の学習内容の定着

第 12 回	12/15・3 限	徳永 文稔	有性生殖	Essential 細胞生物学 19 章の学習内容の定着
第 13 回	12/15・4 限	塩田 正之	細胞外マトリックス	Essential 細胞生物学 20 章の学習内容の定着
第 14 回	12/22・3 限	北西 卓磨	細胞接着と情報伝達	Essential 細胞生物学 20 章の学習内容の定着
第 15 回	12/22・4 限	清水 康平	幹細胞、がん	Essential 細胞生物学 20 章の学習内容の定着
第 16 回	1/26・3 限		細胞生物学コース試験	

成績評価方法	到達目標の達成度をコース終了時の筆記試験 (90%) と講義時の態度・小テスト (10%) を総合して評価し、60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	医学部医学科履修規程に従い、所定の出席がなければ試験を受けることができない。
教科書	必携：Essential 細胞生物学 原書第 5 版 (南江堂)
参考文献	The Cell 細胞の分子生物学 第 6 版 (ニュートンプレス) シグナル伝達 第 2 版 (メディカル・サイエンス・インターナショナル)
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)。
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-2-1)-(1), C-2-1)-(2), C-2-3)-(1), C-2-3)-(2), C-4-2)</li> <li>●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1</li> <li>8. 科学的探究 (智) level 1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1</li> </ul>

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11005-J4
授業科目名	細胞と組織の基本構造と機能		
担当教員氏名	池田 一雄（機能細胞形態学）他		
開講年度・学期	2022 後期	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.6

【シラバス情報】

授業概要	本コースは、正常な細胞についての形態・微細形態・基本的な機能について学び、また、その多様性を理解する。さらに細胞の集団である組織についての総論を学ぶ（組織学総論）。光学顕微鏡を用いた正常組織総論の実習を同時に行う。本コースは系統別（臓器別）に展開される各論コースの基盤として位置づけられる。
到達目標	生物学、生命科学を理解するための基礎である組織学総論を学び、上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の機能と構造が説明できるようになる。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	11/29・3限	池田 一雄	上皮組織	エルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「5 上皮組織」で、学習内容の知識を定着させる
第2回	12/2・3限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（上皮組織）	
第3回	12/2・4限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第4回	12/ 9・3限	松原 勤	結合組織	エルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「4 支持（結合）組織」で、学習内容の知識を定着させる
第5回	12/ 9・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（上皮組織）	
第6回	12/ 9・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第7回	12/16・3限	湯浅 秀人	骨格系組織	エルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「10 骨格系組織」で、学習内容の知識を定着させる
第8回	12/16・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（骨格系組織）	
第9回	12/16・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第10回	12/23・3限	松原 勤	血液	人体の正常構造と機能 第4版「7 血液、免疫 p.480-523」ならびにエルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学「3 血液、造血、骨髄」で、学習内容の知識を定着させる
第11回	12/23・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（血液）	
第12回	12/23・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第13回	1/12・3限	宇留島 隼人	筋組織	人体の正常構造と機能 第4版「11 運動器 筋系 p.758-770」ならびにエルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学「6. 筋組織」で、学習内容の知識を定着させる
第14回	1/12・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（筋組織）	
第15回	1/12・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第16回	1/19・3限	池田 一雄	神経組織	エルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「7 骨格系組織」で、学習内容の知識を定着させる
第17回	1/19・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（神経組織）	
第18回	1/19・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		

	1/20・3限	池田 一雄	組織学実習予備日	
	1/20・4限	松原 勤 宇留島 隼人		
	1/20・5限	湯浅 秀人		

成績評価方法	(1) 小テストを含む試験ならびにレポートによって各単元の学修達成度を測る。 (2) 原則、試験 80%ならびにレポート 20%で成績評価をする。 (3) 合格には、総合して 60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	医学部規則により、原則すべての実習に参加しない限り、単位認定されない。 学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	必携：Ross 組織学（南江堂）、人体の正常構造と機能（日本医事新報社）、組織学カラーアトラス ガートナー / ハイアット（メディカルインターナショナル）、エルゼビア Foundation : ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学 参考：ジュンケラ組織学、標準組織学、入門組織学
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00 (対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-2-1), C-2-2)</li> <li>●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level 1</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level 1</li> <li>8. 科学的探究（智） level 1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level 1</li> </ul> </li> </ul>

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11006-J1
授業科目名	発生学		
担当教員氏名	近藤 誠, 甲斐 理武 (器官構築形態学), 小野 勝彦 (京都府立医科大学)		
開講年度・学期	2022 後期	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.3

【シラバス情報】

授業概要	本コースでは、受精卵からヒトになるまでの発生過程を概観し、基本体制を作る過程や器官形成の分子メカニズムについて学習する。さらに、発生現象の停滞や遅延によって生じる先天異常についても学習する。
到達目標	受精卵からヒトになる過程を概説し、器官形成過程を説明できる。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	10/7・1限	甲斐 理武	脊椎動物の基本パターンと胚発生	(事前) 教科書, Moodle にアップロードする講義資料などで講義主題の予習を行う。 (事後) 教科書, 資料などで講義内容を復習するほか, エルゼビア e-Review の問題を解き, 知識の定着を図る。
第2回	10/7・2限		受精・着床・胚盤胞・胚葉の分化と胚発生	
第3回	10/14・1限	甲斐 理武	胚膜	
第4回	10/14・2限		咽頭弓と頭頸部の発生	
第5回	10/21・1限	小野 勝彦	神経系の発生 1	
第6回	10/21・2限		神経系の発生 2	
第7回	10/28・1限	甲斐 理武	循環器系の発生	
第8回	10/28・2限		消化器・呼吸器系の発生	
第9回	11/18・1限	甲斐 理武	泌尿器系の発生	
第10回	11/18・2限		骨格・筋・四肢の発生	
第11回	11/25・1限	器官構築形態学	試験	

成績評価方法	(1) 試験 (講義時間中で行う小テストを含む) によって学修達成度を測る。 (2) 合格には, 総合して 60% 以上の成績が必要である。
履修上の注意	学修態度が著しく悪い時, その授業への参加を認めないため, 不合格になる場合がある。
教科書	ラングマン・人体発生学 (メディカルサイエンスインターナショナル) または ムーア・人体発生学 (医歯薬出版)
参考文献	Gilbert・Developmental Biology (Sinauer)
オフィスアワー	10:00-16:00 (急用でない限り事前にアポイントメントを取る)
教員への連絡方法	Moodle のメッセージ機能による
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-2-4) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMASOM1133-J4
授業科目名	メディカル・データ・サイエンス 1		
担当教員氏名	新谷歩, 加葉田大志朗, 太田恵子		
開講年度・学期	2022 後期	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.7

【シラバス情報】

授業概要	医師は臨床での診察のみならず、日常臨床の疑問に応えるための研究能力を身に着けることが求められている。臨床研究を行う際に、多くの医師の壁となっているのが医療統計学である。この授業ではコンピュータの操作から、データ解析の基礎を学ぶ。
到達目標	コンピュータ操作の基礎力を付けると同時にデータ解析の楽しさや意義を実感すること。また2年次より開講される「メディカル・データ・サイエンス」講義へのスムーズな導入が可能となる素地を身に着ける。例) 表計算ソフト (Excel) の簡単な使い方・データセットを用いた解析方法など

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1-3回	12/2・1-3限	加葉田	(座学) 講義の概要 (座学・実習) Excelを使ったデータの理解	課題提出
第4-6回	12/9・1-3限	加葉田	(座学) 疫学研究と計画の立て方 (実習) 研究仮説を立ててみよう	課題提出
第7-9回	12/16・1-3限	加葉田, 太田	(座学・実習) REDCapの使い方 (実習) REDCapでデータを集めてみよう	課題提出
第10-12回	1/20・1-3限	加葉田	(実習) 収集したデータの解析	課題提出

成績評価方法	(1) 課題によって各単元の学修達成度を測る。 (2) 課題 100% ※全ての課題を提出を期限内に行った場合のみ成績を評価する。 (3) 原則、合格には、総合して60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	講義初回への参加を必須とし、参加しない、参加態度が悪い場合、単位認定を行わない。 事前に配布する受講手順書等の指示を遵守しない場合は単位認定を行わない。 講義は基本的にオンラインで実施する。 コンピュータ・Excelを用いた実習を行うため、事前指示に従って準備すること。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	講義手順書に指定する方法で連絡を取ること。
教員への連絡方法	講義手順書に指定する方法で連絡を取ること。
その他	<p>●コアカリキュラムへの対応</p> <p>B 社会と医学・医療</p> <p>B-1 集団に対する医療</p> <p>B-1-1) 統計の基礎</p> <p>B-1-2) 統計手法の適用</p> <p>B-1-3) 根拠に基づいた医療&lt; EBM &gt;</p> <p>●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</p> <p>8. 科学的探究 (智) level 1</p> <p>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1</p>

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11007-J1
授業科目名	医学研究推進コース 1		
担当教員氏名	金子 幸弘（教務委員会 副委員長）他		
開講年度・学期	2022	通年	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.4

【シラバス情報】

授業概要	<p>特に昨今は根拠に基づいた医療（evidence based medicine, EBM）が求められており、科学的視点は基礎研究者だけでなく日常診療に当たる医師にも期待されている能力である。課題を発見し、批判的に吟味し、正しい方法で解決するといった科学的視点を養成するための医学プログラムは発展途上にあり、探究心を持つことの重要性も、コアカリキュラムで述べられているものの、研究を促進するための方策面の課題は取り残された状態にある。</p> <p>本コースは各教室で行っている研究を分かりやすく説明し、その魅力を伝えるべく2016年度より設けられたものであり、医学研究の第一線の研究者による最先端の内容を講義するものである。また、研究室探訪により、研究の場を直接体験する。</p>
到達目標	<p>修得してほしい能力は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 原著論文、総説、図書などの相違を説明できる。</li> <li><input type="checkbox"/> CiNii、PubMed、UpToDateなどを用いて、医学文献を検索し、収集することができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 医学文献を批判的に吟味し、課題を発見・設定することができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 論文審査の流れを経験し、適切に審査に対応することができる。</li> </ul>

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/12・5限	金子 幸弘 仁木 満美子	オリエンテーション	指定日までにアンケートに回答すること
第2回	5/10・4限	図書館	文献検索の方法1・2	指定日までに小テストを受験すること
第3回	5/17・4限	水関 健司 金子 幸弘	海馬の空間表象 / 文献検索実習1	指定日までにアンケートに回答すること
第4回	5/24・4限	大谷 直子 金子 幸弘	生体の恒常性維持機構とその破綻 / 文献検索実習2	指定日までにアンケートに回答すること
第5回	5/31・4限	福島 若葉	ワクチンの疫学研究 / 研究室探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第6回	6/7・4限	鰐淵 英機	環境病理学の醍醐味 / 研究室探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第7回	6/14・4限	城戸 康年	Beyond Tropical Medicine / 研究室探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第8回	6/21・4限	石井 聡	健康科学領域のヒト脳機能イメージング研究 / 研究室探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第9回	6/28・4限	林 朝茂	生活習慣病発症の危険因子の探究 / 医学論文	指定日までにアンケートに回答すること
第10回	7/5・4限	金子 幸弘	レポート作成実習1・2	指定日までにレポートを提出すること
第11回	7/12・4限	金子 幸弘	レポート作成実習3・4	指定日までにレポートを提出すること
第12回	9/27・4限	金子 幸弘	レポートの発表	指定日までにレポートを提出すること

成績評価方法	<p>授業参加度（発表など）、コース内で実施するアンケートへの回答、課題の提出、レポートの提出を評価する。</p> <p>レポートは基礎点55点、ループリックによる加点によって100点満点で評価する。基礎点は、提出の遅れや参加時の態度などによって減点することがある。</p> <p>詳細は初回オリエンテーション時に周知する。</p>
--------	--



履修上の注意	初回のみ5時限（17：20-19：00）となるので注意すること。 持参可能なパソコンが必要となるので、各自準備すること。スペックは大学での推奨と同一。 パソコンが苦手、もしくは初めて使用する学生は別途指導するので申し出ること。
教科書	文献検索に関する推奨テキスト □ PICCO から始める医学文献検索のすすめ：書籍／南江堂
参考文献	レポート作成に関する参考図書 □ 黒木 登志夫．知的文章術入門 □ 都筑 学．大学1年生のための 伝わるレポートの書き方 □ 河本 健，石井 達也．トップジャーナル395編の「型」で書く医学英語論文～言語学的 Move 分析が明かした執筆の武器になるパターンと頻出表現 □ 田村房子．アクセプトされる英語医学論文作成術―最新の臨床研究から学ぼう！ □ 酒井 聡樹．これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版 □ 木下 是雄．理科系の作文技術 □ 井下 千以子．思考を鍛えるレポート・論文作成法（第2版） 以上のいずれかは必ず読んでおくこと。 参考になる URL □ ICMJE 統一投稿規定 <a href="http://www.icmje.org/">http://www.icmje.org/</a> その他、教員の指示がある場合には従うこと。
オフィスアワー	10:00-16:00（会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること）
教員への連絡方法	Moodle 上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	<p>● コアカリキュラムへの対応</p> <p>A-2 医学知識と問題対応能力 level 1 A-2-1) 課題探求・解決能力 level 1 学修目標：①必要な課題を自ら発見できる。②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。</p> <p>A-8 科学的探究 level 1 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 level 1 学修目標：①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。③患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。④抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。</p> <p>A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 level 1 A-9-1) 生涯学習への準備 level 1 学修目標：①生涯学習の重要性を説明できる。②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p> <p>● 該当するコンピテンス</p> <p>1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1 8. 科学的探究（智）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1</p> <p>● レポート評価者</p> <p>多くの教員の陰のご尽力により成り立っている。 甲斐 理武、東島 沙弥佳、松原 勤、湯浅 秀人、千葉 秀平、金 明月、松本 早紀子、及川 大輔、清水 康平、寺脇 正剛、北西 卓磨、松本 英之、宮脇 寛行、高杉 征樹、山岸 良多、神谷 知憲、國本 浩之、小島 裕正、植松 未帆、藤本 康介、佐藤 慎太郎、石井 聡、鈴木 周五、藤岡 正喜、梯 アンナ、魏 民、松永 慎司、徳留 健太郎、山口 雄大、城戸 康年、中釜 悠、加賀谷 渉、仁木 満美子、坪内 泰志、老沼 研一、大藤 さとこ、加瀬 哲男、佐藤 恭子、柴田 幹子、吉田 寿子、小野寺 理恵、今井 匠</p> <p>● その他</p>



【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1140-J1
授業科目名	物理学の臨床医学への応用		
担当教員氏名	放射線診断：大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 三木幸雄 核医学：大阪市立大学大学院医学研究科 核医学 吉田敦史 放射線治療：大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学 澁谷景子		
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.4

【シラバス情報】

授業概要	様々な病状診断や、がん治療において重要な役割を果たしている最先端の放射線医学を紹介しつつ、放射線医学の基礎となる物理学を学び、現在履修している物理学の延長線上に放射線医学があることを知る。
到達目標	臨床画像診断に重要な役割を担うCT・MRIなどの画像診断や、様々な放射線治療、核医学画像診断や放射線内用療法を知り、基礎となる医学物理を学ぶことで、放射線医学に興味を持つ。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	6/16・5限	三木幸雄	放射線診断（画像診断）、放射線治療、核医学を紹介し、放射線医学の基礎となる物理学を学ぶ。	事前に大阪市立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事。
第2回	7/26・1限	澁谷景子		
第3回	7/28・4限	吉田敦史		

成績評価方法	出席の確認にて評価を行う。
履修上の注意	医学部規則により、学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	必須の教科書はないが、事前に大阪市立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事が望ましい。
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コアカリキュラムへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・E-6) 放射線の生体影響と放射線障害 <ul style="list-style-type: none"> <li>E-6-1) 生体と放射線 ①、④、⑤</li> <li>E-6-2) 医療放射線と生体影響 ②、③</li> </ul> </li> <li>・F-2) 基本的診療知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>F-2-5) 基本的診療知識 ①、③</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level1</li> <li>6. 医療の質と安全の管理 (仁) level1</li> <li>7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 (智・仁・勇) level1</li> <li>8. 科学的探究 (智) level1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level1</li> </ol> </li> </ul>

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1142-J4
授業科目名	早期臨床実習 1		
担当教員氏名	教務委員会		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.4

【シラバス情報】

授業概要	医療チームの一員として、将来共に働いていく看護職の役割と患者の入院環境を知る。
到達目標	専門的な知識や手技の修得を目的としたものではなく、患者に対する看護、介護を通してひとりの人間として患者の環境・立場を理解し、その中から、将来医師となるべき自分が今後何をなすべきかを自覚すること。働くうえで、患者－医療職間のコミュニケーションの重要性を理解する。

授業内容	8月 2日間（オリエンテーション含め3日間になる病院もあり）。 協力病院：本学医学部附属病院・大阪市立総合医療センター・弘済院附属病院・東住吉森本病院、ほか
事前・事後学習の内容	事前ガイダンスにて指示する。

成績評価方法	<p>実習終了後レポートの提出（レポートの提出がない場合は、実習出席と認めない）。</p> <p>(1) テーマ 「早期臨床実習 I に参加して」（次の事柄を含めて書くこと）。</p> <p>① 感想</p> <p>② 特に勉強になった点</p> <p>③ 今回の経験をふまえた今後の指針</p> <p>(2) 提出様式 用紙サイズ・・・ A4（縦長で使用し横書きすること） その他・・・ テーマ・学籍番号・氏名は最初の2～3行で記入 表紙は付けないこと ※レポートは各実習先に送付する為、PCで作成すること。</p> <p>(3) 提出方法 ウェブサイトを使用して提出。方法は、別途指示をする。</p>
履修上の注意	<p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 白衣・名札を持参し、着用すること。</li> <li>2. 病院の担当者・引率の教員の指示に従うこと。</li> <li>3. 病院の規律と秩序を乱さないこと。</li> <li>4. 私語を慎むこと。</li> <li>5. 身だしなみは、将来医師となる者として、ふさわしいものを選ぶこと。</li> <li>6. 手荷物は最小限にすること。</li> <li>7. 実習中、携帯電話は持ち歩かないこと。</li> <li>8. 欠席・遅刻・早退は原則として修了と認めない。</li> <li>9. 実習に行く際の交通費は自己負担となる。</li> <li>10. 抗体検査で陰性だった学生は、実習までに小児感染症ワクチンの接種を完了しておくこと。未接種の場合実習に参加することができない。</li> </ol>
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	

<p>その他</p>	<p>各病院業務多忙のなか実習協力が得られたものであるため、本学医学部生として節度を保ち、真摯な態度で実習に臨むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応</li> </ul> <p>A 医師として求められる基本的な資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A-4 コミュニケーション能力</li> <li>A-5 チーム医療の実践</li> <li>A-6 医療の質と安全の管理</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level1</li> <li>3. 診療技能と患者ケア (智・仁・勇) level1</li> <li>4. コミュニケーション能力 (智・仁・勇) level1</li> <li>5. チーム医療の実践 (仁) level1</li> <li>6. 医療の質と安全の管理 (仁) level1</li> <li>7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 (智・仁・勇) level1</li> <li>8. 科学的探究 (智) level1</li> </ol>
------------	---

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1141-J1
授業科目名	早期臨床医学入門（1回生から始めるプライマリケア外来診断学）・早期診療所実習		
担当教員氏名	<p>早期臨床医学入門：            教務委員会            担当教員：板金広（いたがねファミリークリニック）            板金広（いたがねファミリークリニック） 松村榮久（松村医院）            嶋田一郎（嶋田クリニック） 藤岡雅司（ふじおか小児科）            桜井隆（さくらいクリニック） 佐田竜一（亀田総合病院総合内科）            谷知子（神戸市看護大学 専門基礎科学領域 医科学分野）            香月憲一（学園南クリニック） 小林正宜（葛西医院）</p> <p>早期診療所実習：            教務委員会、医学部同窓会指導医</p>		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.9

【シラバス情報】

授業概要	<p>早期臨床医学入門：症候診断学だけでなく、予防接種や認知症や終末期診療などを通してチーム医療や医療連携、あるいは患者中心の医療に必要な医師の素養（リーダーシップ、人間力、プロフェッショナルリズムなど）についても触れる。また実際の臨床場面において必要な基礎医学（解剖学、生理学、病理学など）との関連を示し、今後学ぶ基礎医学の重要性を理解する。</p> <p>早期診療所実習：地域医療の特性ならびに予防医療、福祉連携等を体験するために、医学部同窓会協力のもと、地域の診療所における実習を行う。</p>
到達目標	<p>早期臨床医学入門：前半の授業では、夏期に行われる早期診療所実習のオリエンテーションを行う。プライマリケアの最前線ともいえる診療所での見学実習・研修を通して、診療所医療の独自性・重要性、医師のやりがいや醍醐味が体験できるように必要な準備知識を培う。秋季の授業では、地域医療で必ず出会う頭痛や風邪などの普遍的な症候から診断を行う過程を疑似経験し、医師として基本的に必要な技能である①患者の観察能力、②医療面接の基本、③臨床推論、④患者とのコミュニケーション、⑤身体診察法、⑥鑑別診断の考え方を学ぶ。</p> <p>早期診療所実習：医師として備えるべき基本姿勢を身につけるとともに、医師・患者関係を理解することを目標とする。</p>
授業内容	<p>早期臨床医学入門：6月～1月の木曜午後（日程詳細は掲示板にて通知する）</p> <p>早期診療所実習：各診療所の指導医に委ねる。</p> <p>8月～9月の夏期休業中1日。空きがあれば複数の診療所に行っても構わない。</p>
事前・事後学習の内容	<p>早期臨床医学入門：（1回生から始めるプライマリケア外来診断学）の授業内で診療所実習の心構え・患者とのコミュニケーション等のオリエンテーションを行う。</p>
成績評価方法	<p>早期臨床医学入門：各講義の出席点と学期末試験の合計点で評価する。</p> <p>再履修生の評価方法は、本科目を再履修となった学生は、平常の授業に加え、特別な実習プログラムを受講し、それも含めて最終評価を行う。</p> <p>早期診療所実習：            ①時間厳守 ②身だしなみ ③あいさつ を評価表にて指導医に評価いただく。            学生は実習前にプレアンケート、実習終了後にポストアンケートを学務課宛提出する。</p>

履修上の注意	<p><b>早期臨床医学入門</b>：この講義では学生諸君を社会人として扱うので、授業への遅刻、途中退室、授業中の携帯操作、飲食、私語などを認めない。</p> <p><b>早期診療所実習</b>： 業務多忙の中、実習協力が得られたものであるため、御厚意に感謝することを忘れず、真摯な態度で実習に臨むこと。 実習先の医師（指導医）は、君たち学生に有意義な体験をしてもらいたいと思っています。実習先のスタッフや、患者さんも協力的に接してくれるでしょう。 もちろん君たちの熱意があつてのことです。君たちはそのような期待を裏切らないような言葉、行動につとめてください。</p> <p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習の数日前（少なくとも5日前まで）に、診療所に電話連絡し、自己紹介した上で、実習をしていただけることに対してお礼を述べる。当日の来院時刻と場所を再確認する。</li> <li>2. 実習当日は来院時刻を厳守すること（基本は10分前到着）。</li> <li>3. 身だしなみは、将来医師となる者として、ふさわしいものを選ぶこと。</li> <li>4. 名札・白衣を持参し着用すること。</li> <li>5. 指導医の指示に従うこと。</li> <li>6. 診療所の規律と秩序を乱さないこと。</li> <li>7. 患者様の前では私語を慎むこと。</li> <li>8. 実習中携帯電話は持ち歩かないこと。</li> <li>9. 欠席、遅刻、早退は原則として修了と認めない。</li> <li>10. 各診療所への交通費は自己負担となる。</li> <li>11. 抗体検査で陰性だった学生は、実習前に小児感染症ワクチン接種を完了しておくこと。ワクチン未接種の場合実習には行くことができない。</li> </ol>
教科書	早期臨床医学入門：講義開始30日前までに学務課を通じて提示する。
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	
その他	<p><b>早期臨床医学入門</b>：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応</li> <li>A 基本事項</li> <li>A-4 コミュニケーション能力</li> <li>A-5 チーム医療</li> <li>B 社会と医学・医療</li> <li>● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</li> <li>1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1</li> <li>3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1</li> <li>4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1</li> <li>7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁）level1</li> </ul> <p><b>早期診療所実習</b>：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応</li> <li>G 臨床実習</li> <li>G-4 診療科臨床実習</li> <li>G-4-3) 地域医療実習</li> <li>● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応</li> <li>1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1</li> <li>2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1</li> <li>3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1</li> <li>4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1</li> <li>5. チーム医療の実践（仁）level1</li> <li>6. 医療の質と安全の管理（仁）level1</li> <li>7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1</li> </ul>

【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMXCLM11002-J4
授業科目名	心肺蘇生法実習		
担当教員氏名	教務委員会、ライフサポートクラブ (LSC)		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.1

【シラバス情報】

授業概要	<p>目前で発生した心肺停止などの緊急事態に際して、心肺蘇生法の意義を理解して施行できる。医療行為にかかわることで、将来医師になる自覚を萌芽（1年生）・再確認（4年生）させる。さらに1年生を指導することで、4年生に Teaching is Learning 効果を体感させる。これにより、医師は常に「教育者」であることを自覚させる。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一次救急処置の概略を説明できる。</li> <li>2. 傷病者の意識の確認ができる。</li> <li>3. 119番通報とAEDの要請ができる。</li> <li>4. 気道の確保ができる。</li> <li>5. 呼吸の確認ができる。</li> <li>6. 胸骨圧迫心臓マッサージができる。</li> <li>7. AEDを使用できる。</li> </ol>

授業内容	<p>各学年を4グループに分け実施する。グループ分けは掲示板にて周知する。          開講日 掲示板にて周知する。          前半グループ開始時間：17：00～18：00          後半グループ開始時間：18：10～19：10          場 所 スキルシミュレーションセンター          1年生は開始10分前にメディックスビル8階会議室2へ集合          4年生は開始30分前にスキルシミュレーションセンター内アネックス集合</p>
事前・事後学習の内容	<p>4年生で先輩指導に自信のない人は、最寄りのLSCメンバーに相談して、実習日までに復習しておくこと</p>

成績評価方法	<p>実習への参加、小テスト、アンケート記入をもって修了とする。</p>
履修上の注意	<p>動きやすい服装を着用すること（スカートやヒール靴を避けること）</p>
教科書	<p>特になし</p>
参考文献	<p>特になし</p>
オフィスアワー	<p>9:00-17:00</p>
教員への連絡方法	
その他	<p>1年生のみなさんも3年後にはインスト側にまわるので、教え方も十分に観察しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コアカリキュラムへの対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>A 医師として求められる基本的な資質・能力</li> <li>A-2 医学知識と問題対応能力</li> <li>A-2-2) 学修の在り方</li> <li>G 臨床実習</li> <li>G-3 基本的臨床手技</li> <li>G-3-4) 救命処置</li> <li>G-4-4) シミュレーション教育</li> </ul> </li> <li>● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇）level1</li> <li>5. チーム医療の実践（仁）level1</li> <li>9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1</li> </ul> </li> </ul>